

3 整備要領

3-1 SRSエアバッグ&シートベルト …3-2

〔1〕概要 ……3-2

〔2〕プリテンショナー付シートベルト ……3-3

〔3〕ブラケット&カバーASSY ……3-7

〔4〕故障診断 ……3-8

〔5〕回路図 ……3-33

3-2 ボディ機能装備品 ……3-34

〔1〕パワーウィンドウシステム ……3-34

3-3 エンジン点検・調整 ……3-36

〔1〕バルブクリアランス ……3-36

3

エアバッグ&シートベルト (A)

エアバッグ&シートベルト (B)

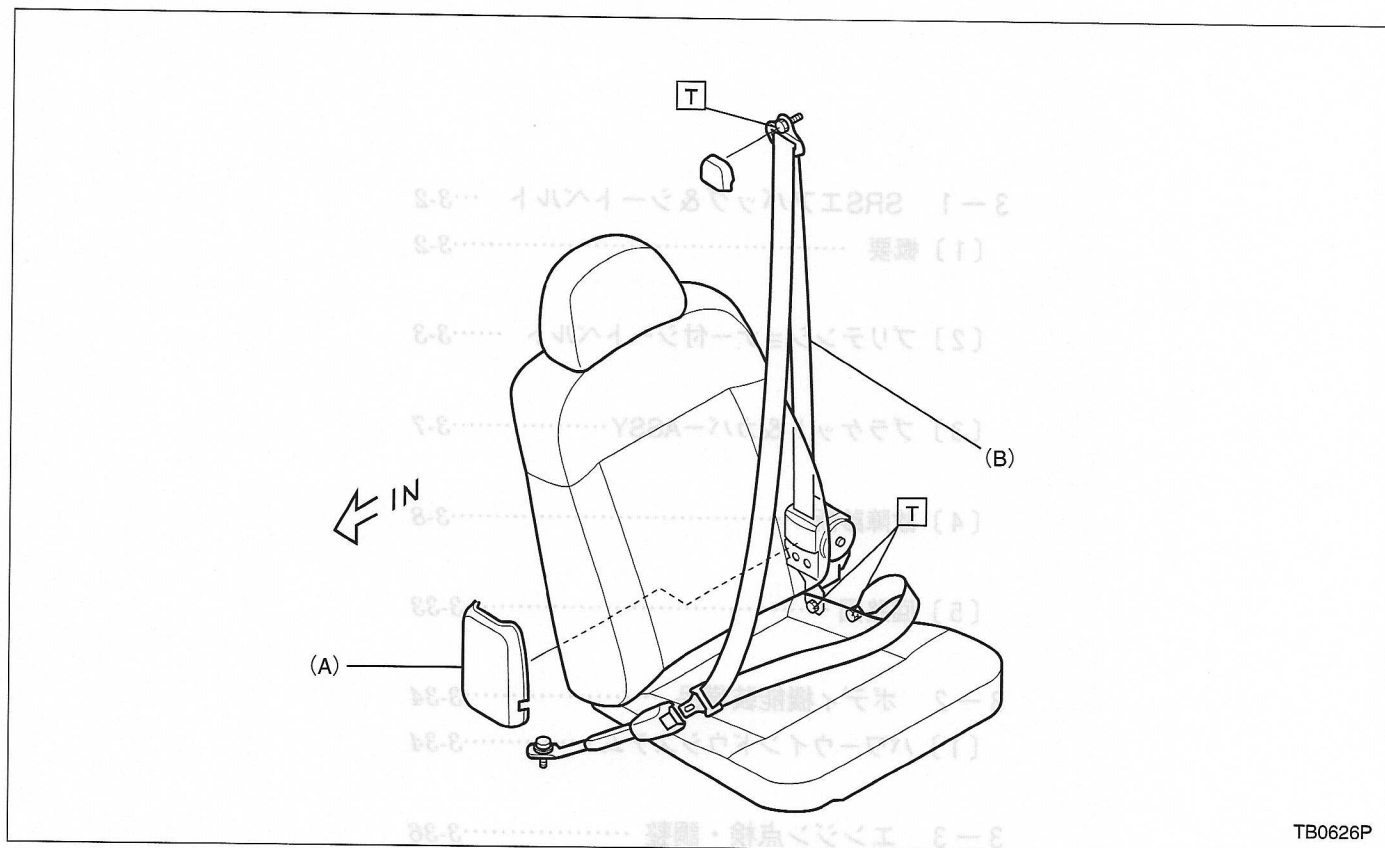
<品番表>

品名	仕様	工器具	イラスト	取付
エアバッグ&シートベルト (組立機)	エアバッグ&シートベルト	080A900000		ST
	エアバッグ&シートベルト	080A900000		

〔1〕 概要

<構成部品>

(1) 助手席プリテンショナー



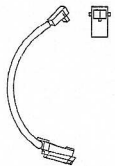
TB0626P

(A) リトラクターカバー

(B) プリテンショナー付シートベルト

T : $30 \pm_{-7}^{+20}$ N・m ($3.0 \pm_{-0.7}^{+2.0}$ kgf・m)

<整備作業準備品>

種類	イラスト	工具番号	名 称	用 途
ST	 ST98299PA030	98299PA030	ディプロイメントツール /エアバッグ	プリテンショナー展開装置 (廃却時)
	 ST98299SA010	98299SA010	ディプロイメント アダプターD	

[2] 助手席プリテンショナー付シートベルト

<整備時の注意事項>

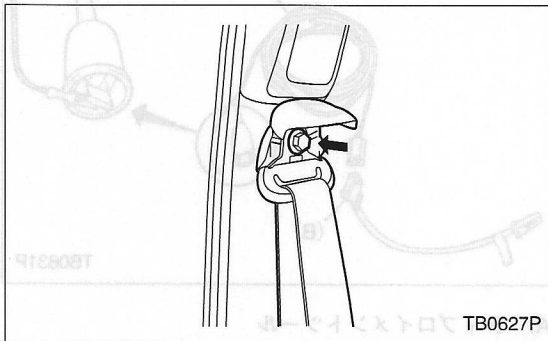
1. プリテンショナーを落下させたり、たたき等衝撃を与えないこと。また、水や油脂を付着させた場合は、乾いた布等で拭き取ること。
2. プリテンショナーを高温や火気にさらさないこと。
3. 電圧、電流をかけないこと。また、プリテンショナーの抵抗測定は行わないこと。(テスター禁止)
4. プリテンショナーは絶対に分解、または修理しないこと。へこみ、割れ、変形等の異常がある場合は、新品に交換すること。
5. 展開(作動)後のプリテンショナーを作業等で取り扱う場合は、手袋、保護メガネを着用すること。
6. プリテンショナーが展開(作動)した場合は、新品に交換すること。
7. プリテンショナーは必ず展開させてから廃却すること。

<取外し>

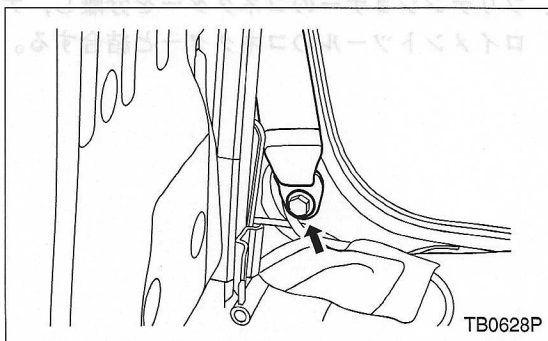
1. IGSWをOFFにして、バッテリーマイナス端子を外す。

注意：IGSWをOFFにして、バッテリーマイナス端子を外し、20秒以上経過してから作業を開始すること。

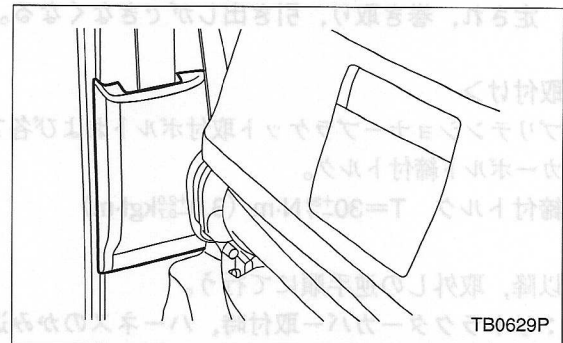
2. 助手席肩ベルトのボルトカバーを外し、肩ベルトのアンカーボルトを取り外す。



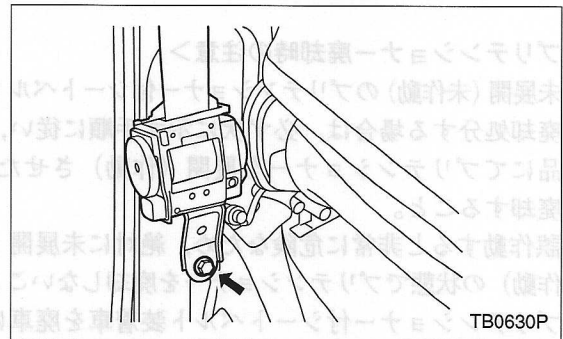
3. 腰ベルトのアンカーボルトを取り外す。



4. リトラクターカバーを取り外す。



5. プリテンショナーブラケット取付ボルト1本を外す。



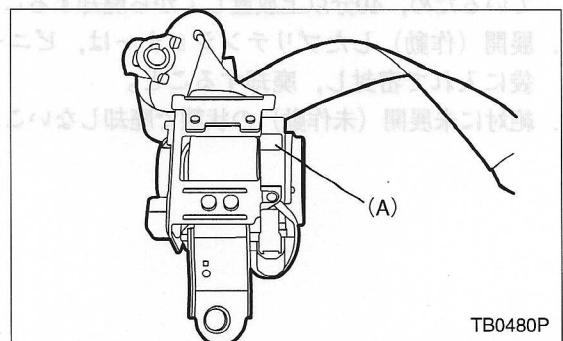
6. プリテンショナーコネクターを分離し、プリテンショナーを取り出す。([3] プリテンショナーコネクター)を参照すること。

注意：

- プリテンショナーを落下させたり、たたいたりしないこと。
- プリテンショナーとブラケットは一体であるので分解しないこと。
- プリテンショナーは絶対に分解しないこと。

<点検>

1. プリテンショナーに割れ、変形等がないか点検する。異常のある場合は、新品に交換する。
2. シールのはがれているプリテンショナーは作動しているので、新品に交換すること。



(A) シール

SRSエアバッグ&シートベルト

注意：プリテンショナーが作動したものは、ベルトが固定され、巻き取り、引き出しができなくなる。

<取付け>

プリテンショナーブラケット取付ボルトおよび各アンカーボルト締付トルク。

締付トルク $T=30^{+20}_{-10}\text{N}\cdot\text{m}$ ($3.0^{+2}_{-1}\text{kgf}\cdot\text{m}$)

以降、取外しの逆手順にて行う。

注意：リトラクターカバー取付時、ハーネスのかみ込みに注意すること。

<プリテンショナー廃却時の注意>

- 未展開（未作動）のプリテンショナー付シートベルトを廃却処分する場合は、必ず次に示す手順に従い、単品にてプリテンショナーを展開（作動）させた後、廃却すること。
- 誤作動すると非常に危険なため、絶対に未展開（未作動）の状態でプリテンショナーを廃却しないこと。
- プリテンショナー付シートベルト装着車を廃車にする場合は、前項の取外し手順に従い、シートベルトを取外してからプリテンショナーを作動させ、廃車にすること。

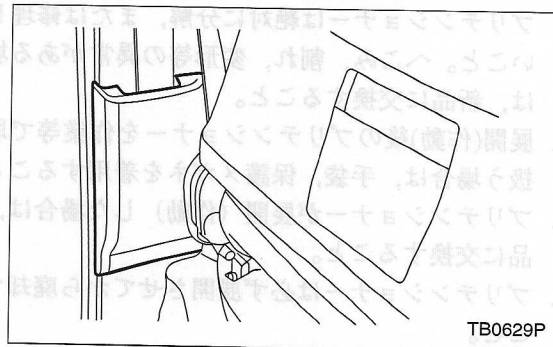
1. 展開（作動）処理は、安全を確保できるコンクリート上の平坦な場所で行うこと。
2. プリテンショナーに衝撃を与えたり、落したりしないように注意すること。
3. 展開（作動）時には作動音がするので、周囲の人に音に対する予告を行うこと。また、周囲5m以内に人を近づけないこと。
4. 展開（作動）時、煙が発生するので、換気のよい場所で行うこと。
5. 作業は手袋、保護メガネ、耳せんを着用して行い、作業終了後は手を洗うこと。
6. 展開（作動）したプリテンショナーは高温になっているため、40分以上放置してから廃却すること。
7. 展開（作動）したプリテンショナーは、ビニール袋に入れて密封し、廃却すること。
8. 絶対に未展開（未作動）の状態で廃却しないこと。

<車載状態での廃却要領>

1. IGSWをOFFにして、バッテリーマイナス端子を外す。

注意：イグニッションスイッチをOFFにして、バッテリーマイナス端子を外し、20秒以上経過してから作業を開始すること。

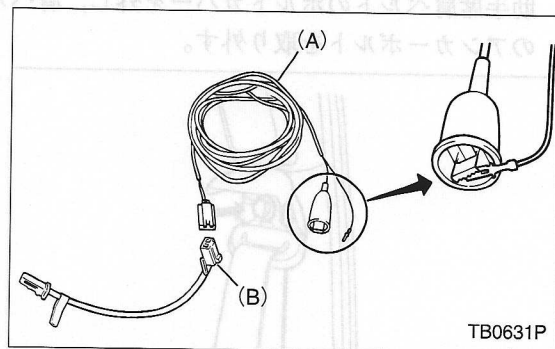
1. リトラクターカバーを取外す。



2. ST・ディプロイメントツールのワニ口と端子をショートさせ、アダプターハーネスを結合する。

特殊工具：98299PA030 ディプロイメントツール／エアバッグ
98299SA010 ディプロイメントアダプターD

注意：プリテンショナー展開直前までディプロイメントツールをショートさせておくこと。

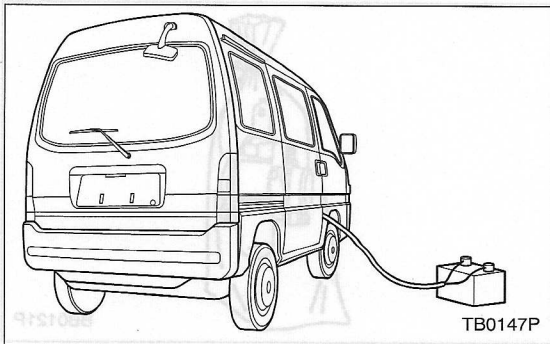


(A) ディプロイメントツール

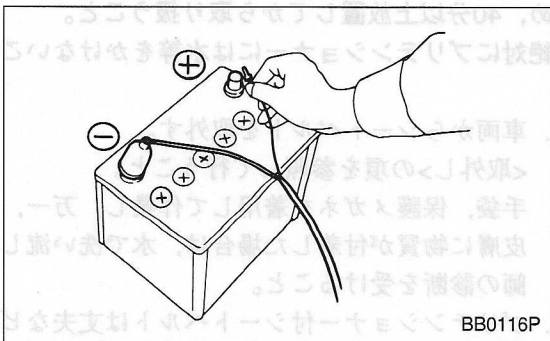
(B) ディプロイメントアダプターD

4. プリテンショナーのコネクターを分離し、ディプロイメントツールのコネクターと結合する。

5. ディプロイメントツールをいっぱいに伸ばし、車内に人がいないことを確認し、ドア、ウィンドウ、サンルーフ、リヤゲートをすべて全閉にする。



6. バッテリーを車両から5m以上離し、周囲の安全を確認した後、ディプロイメントツールのワニ口をバッテリーのマイナス端子につなぎ、もう一方をプラス端子に接触させ、展開させる。

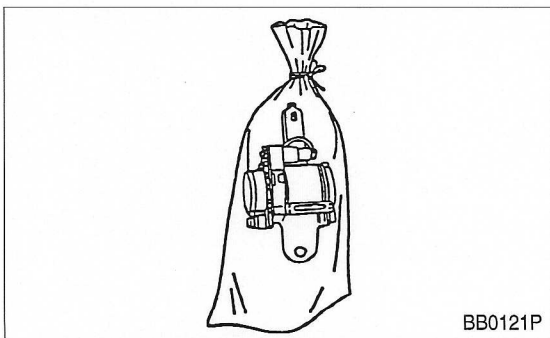


注意：

- プリテンショナー展開直後は、高温になっているため、40分以上放置してから廃却すること。
- 展開したプリテンショナーに水等をかけないこと。

7. 展開させたプリテンショナーは取外して丈夫なビニール袋に入れて密封し、廃却すること。

注意：絶対に分解または焼却しないこと。



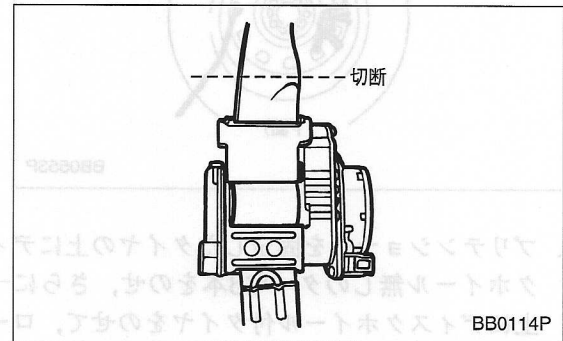
＜プリテンショナー単体での廃却要領＞

1. プリテンショナー付シートベルトを取外す。

＜取外し＞の項参照

注意：プリテンショナーに衝撃を与えたり、落下させたりしないこと。

2. シートベルトをリトラクター部のところで切断する。



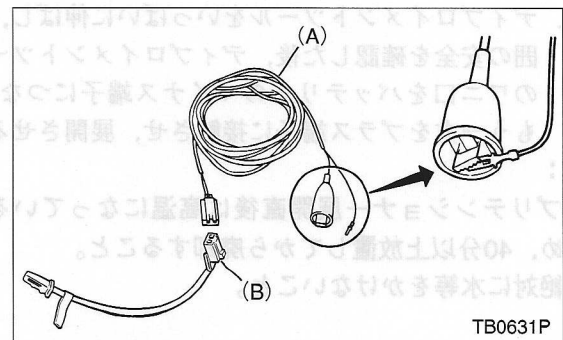
3. 自動車用ワイヤーハーネス（芯線断面積1.25mm²以上）3本まとめて、プリテンショナーブラケットに二重巻きにしてしぼる。

4. ディプロイメントツールのワニ口と端子をショートさせ、アダプターハーネスと結合する。

特殊工具：98299PA030 ディプロイメントツール／エアバッグ

98299SA010 ディプロイメントアダプターD

注意：ディプロイメントツールは、プリテンショナー展開直前までショートさせておくこと。

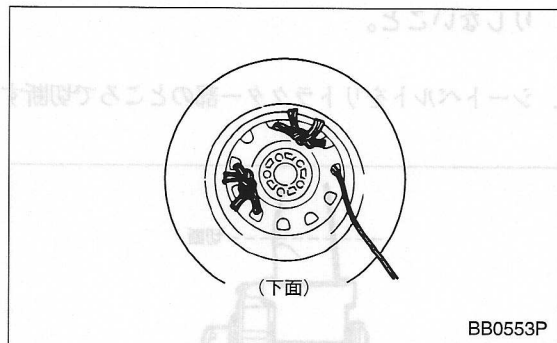


(A) ディプロイメントツール

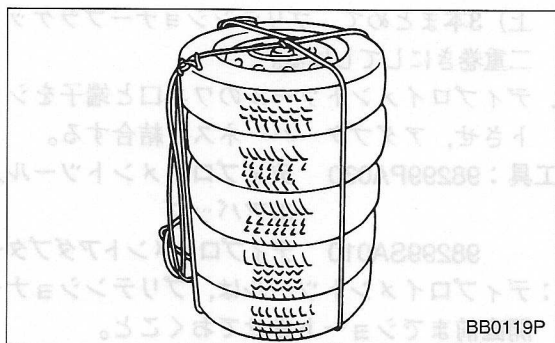
(B) ディプロイメントアダプターD

5. プリテンショナーのコネクターとディプロイメントツールのコネクターを結合する。

6. プリテンショナーをディスクホイール付タイヤに固定し、プリテンショナーを固定した面を上にして置く。



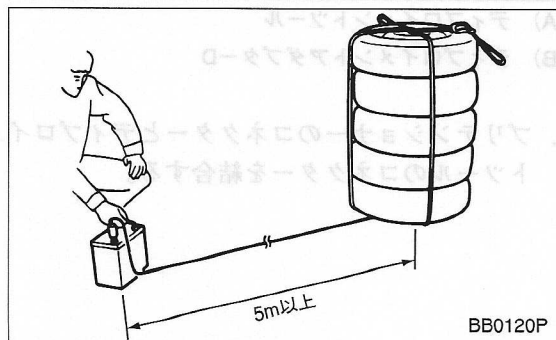
7. プリテンショナーを固定したタイヤの上にディスクホイール無しのタイヤ3本をのせ、さらに一番上にディスクホイール付タイヤをのせて、ロープで固くしばる。



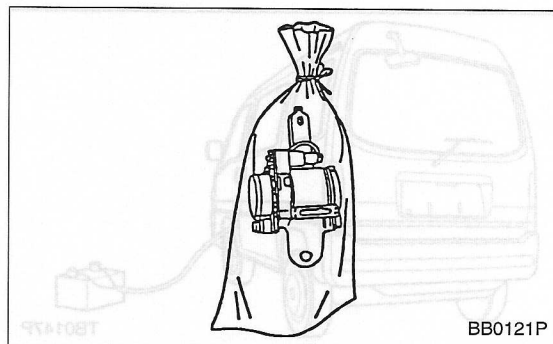
8. ディプロイメントツールをいっぱいに伸ばし、周囲の安全を確認した後、ディプロイメントツールのワニ口をバッテリーのマイナス端子につなぎ、もう一方をプラス端子に接触させ、展開させる。

注意：

- プリテンショナー展開直後は高温になっているため、40分以上放置してから廃却すること。
- 絶対に水等をかけないこと。



9. 展開させたプリテンショナーは丈夫なビニール袋に入れて密封し、廃却すること。
- 注意：絶対に分解または焼却しないこと。



<展開済プリテンショナー付シートベルトの廃却要領>

車両衝突等により展開済のプリテンショナーを交換し、廃却する場合は、下記の手順に従い実施すること。

注意：

- プリテンショナー展開直後は、高温になっているため、40分以上放置してから取り扱うこと。
- 絶対にプリテンショナーには水等をかけないこと。

1. 車両からシートベルトを取外す。

<取外し>の項を参照して行うこと。

手袋、保護メガネを着用して作業し、万一、目や皮膚に物質が付着した場合は、水で洗い流し、医師の診断を受けること。

2. プリテンショナー付シートベルトは丈夫なビニール袋に入れて密封し、廃却すること。

注意：作業終了後、手を水洗いすること。

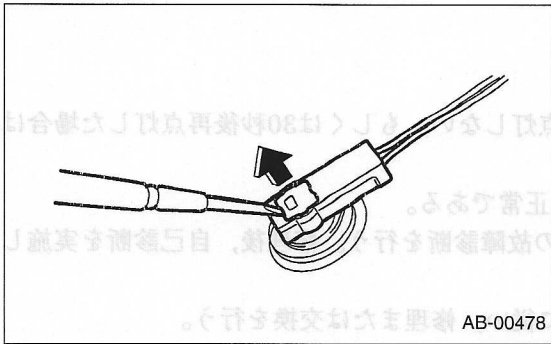


[3] プリテンショナーコネクター

<取外し>

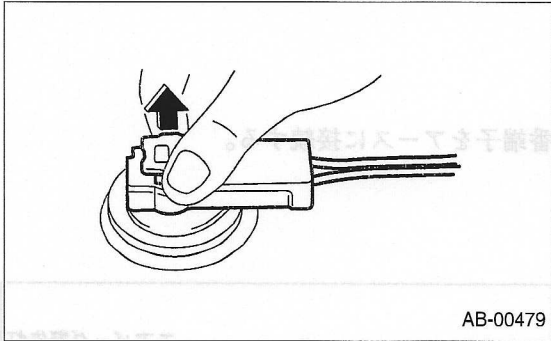
1. マイナスドライバーを使用して、プッシュロック

を引上げ、ロックを解除する。



AB-00478

2. コネクターを引いて、リトラクターASSYから切り離す。



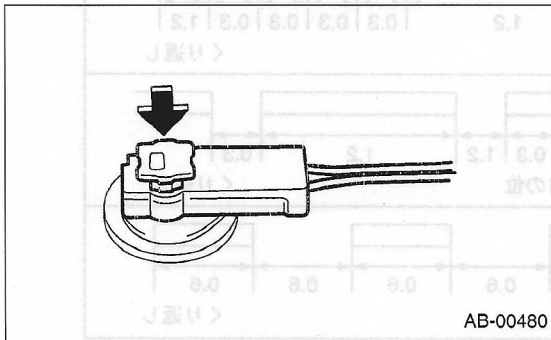
AB-00479

<取付け>

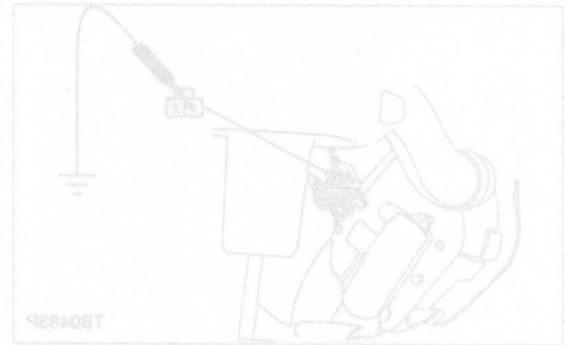
取外しの逆手順で、コネクターを接続する。このとき、プッシュロックを「カチッ」と音が聞こえるまで確実に押込む。

注意：

- コネクターがロックされるまで挿入すること。軽く引いて、確実に固定されていることを確認すること。
- プッシュロックを確実に押込むこと。



AB-00480



[4] 故障診断

(1) 自己診断の方法

1. 基本診断方法

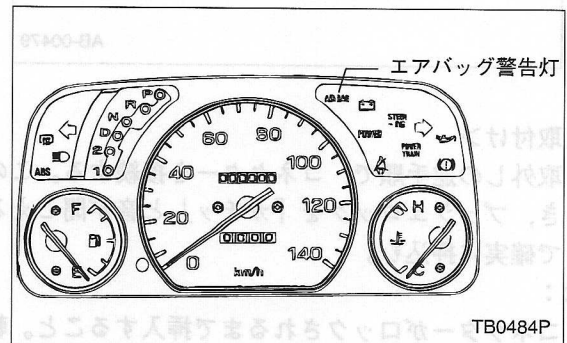
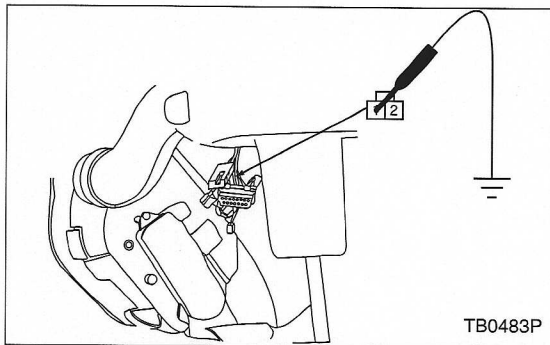
正常時は、IG SW ON後、約6秒間エアバッグ警告灯が点灯した後消灯する。これをイニシャルチェックといい、ランプ切れの点検ができる。

エアバッグ警告灯が点灯した時には

- 1) IG SW ONにし、エアバッグ警告灯の点灯状態を確認する。
- 2) 警告灯がIG SW ON後約6秒以上点灯したまま、または、点灯しない、もしくは30秒後再点灯した場合は、自己診断の方法に従い修理する。
- 3) 警告灯がIG SW ON後約6秒点灯し、消灯した場合、現在は正常である。
- 4) この場合は自己診断機能のリードメモリーを実施し、過去の故障診断を行う。修理後、自己診断を実施し、異常がなければメモリークリアを行う。
- 5) 故障コードが表示された場合は、表示されたコードの手順に従い、修理または交換を行う。
故障コードが表示されない場合は、不具合現象に基づく点検に従い、修理または交換を行う。
- 6) IG SW ONにし、エアバッグ警告灯の点灯状態を確認する。警告灯がIG SW ON 後約6秒以上点灯、または点灯しない、もしくは30秒後再点灯した場合は、自己診断の方法に従い、修理する。
警告灯がIG SW ON 後約6秒点灯し、消灯した場合は、メモリークリアを行う。

2. オンボード診断方法

- 1) IG SW ON (エンジン停止)
- 2) 運転席ロアカバー部のダイアグノーシスコネクターF15の1番端子をアースに接続する。
- 3) エアバッグ警告灯の点滅によりコードを読み取る。
- 4) IG SW OFF し、アース端子を外す。



コード	警告灯点滅状態
12	1.2 0.3 0.3 0.3 0.3 1.2 1.2 0.3 0.3 0.3 0.3 1.2 10の位 1の位 くり返し
21	1.2 0.3 1.2 0.3 0.3 1.2 1.2 0.3 10の位 1の位 くり返し
正常	0.6 0.6 0.6 0.6 0.6 0.6 0.6 0.6 くり返し

SRSエアバッグ&シートベルト

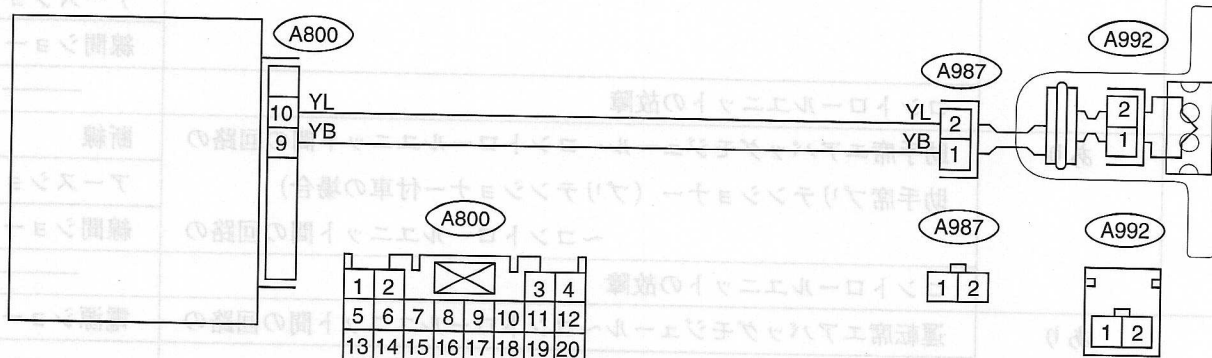
(2) コードに基づく点検

1. コード一覧

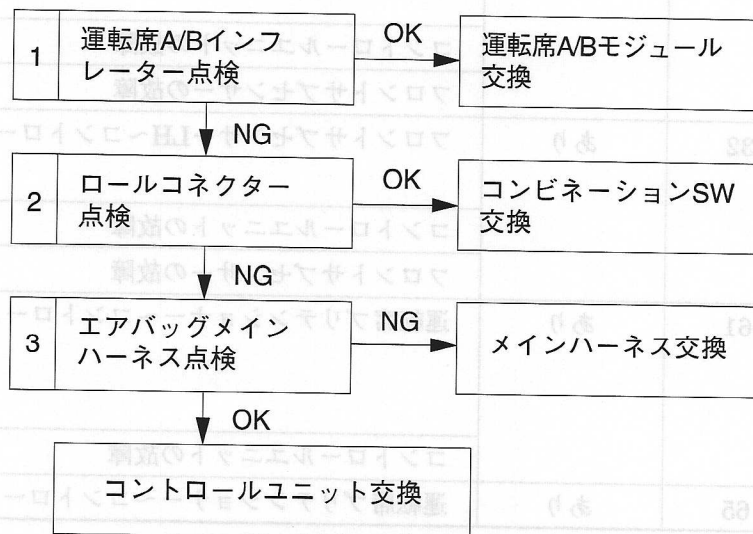
コード	メモリーの有無	診断内容	
11	あり	運転席エアバッグモジュール～コントロールユニット間の回路の	断線
			アースショート
			線間ショート
		コントロールユニットの故障	——
12	あり	助手席エアバッグモジュール～コントロールユニット間の回路の	断線
		助手席プリテンショナー（プリテンショナー付車の場合）	アースショート
		～コントロールユニット間の回路の	線間ショート
		コントロールユニットの故障	——
15	あり	運転席エアバッグモジュール～コントロールユニット間の回路の	電源ショート
		コントロールユニットの故障	——
16	あり	助手席エアバッグモジュール～コントロールユニット間の回路の	電源ショート
		助手席プリテンショナー（プリテンショナー付車の場合）	
		～コントロールユニット間の回路の	
		コントロールユニットの故障	——
21	あり	コントロールユニットの故障	——
22	あり	フロントエアバッグ作動	——
23	あり	コントロールユニットのコネクター（A300）の外れ	——
24	あり	コントロールユニット～ボディハーネス間（FB18）の	断線
25	あり	コントロールユニット～ボディハーネス間（FB17）の	断線
31	あり	フロントサブセンサーRH～コントロールユニット間の回路の	断線
			ショート
		コントロールユニットの故障	——
		フロントサブセンサーの故障	——
32	あり	フロントサブセンサーLH～コントロールユニット間の回路の	断線
			ショート
		コントロールユニットの故障	——
		フロントサブセンサーの故障	——
61	あり	運転席プリテンショナー～コントロールユニット間の回路の	断線
			アースショート
			線間ショート
		コントロールユニットの故障	——
65	あり	運転席プリテンショナー～コントロールユニット間の回路の	電源ショート

注) コード11から32までは、故障診断書‘99-2を参照して点検すること。

コード11 運転席エアバッグ回路, 断線・アースショート・線間ショート



• フローチャートに従い右頁の要領で点検する。



SRSエアバッグ&シートベルト

1. 運転席エアバッグインフレーター点検	注意 作業前にIG SW OFFし、バッテリーのケーブルをはずして20秒以上経過後に作業すること。 1. 運転席エアバッグモジュールをはずす。 2. A992コネクタにテストハーネスNを接続する。 3. テストハーネスNにエアバッグレジスターを接続する。 4. バッテリーのマイナスケーブルを接続し、IG SWをONにする。		
	<table border="1"> <tr> <td style="text-align: center;">基準値</td><td>エアバッグウォーニングランプは正常になったか（約6秒間点灯し、その後消灯したままであること）</td></tr> </table>	基準値	エアバッグウォーニングランプは正常になったか（約6秒間点灯し、その後消灯したままであること）
基準値	エアバッグウォーニングランプは正常になったか（約6秒間点灯し、その後消灯したままであること）		

2. ロールコネクタ点検	注意 点検の前にIG SW OFFし、バッテリーのケーブルを外して20秒以上経過後作業すること。 1. A987コネクタにテストハーネスFを接続する。 2. テストハーネスFにエアバッグレジスターを接続する。 3. バッテリーのマイナスケーブルを接続し、IG SWをONにする。		
	<table border="1"> <tr> <td style="text-align: center;">基準値</td><td>エアバッグウォーニングランプは正常になったか（約6秒間点灯し、その後消灯したままであること）</td></tr> </table>	基準値	エアバッグウォーニングランプは正常になったか（約6秒間点灯し、その後消灯したままであること）
基準値	エアバッグウォーニングランプは正常になったか（約6秒間点灯し、その後消灯したままであること）		

3. エアバッグメインハーネス点検	注意 点検の前にIG SW OFFし、バッテリーのケーブルを外して20秒以上経過後作業すること。 1. エアバッグコネクタA800をエアバッグコントロールユニットから取り外し、テストハーネスE2の1Eと接続する。 2. 次の間の導通点検 - テストハーネスE2のコネクタ2E端子①～テストハーネスFのコネクタ3F端子③ - テストハーネスE2のコネクタ2E端子④～テストハーネスFのコネクタ3F端子④		
	<table border="1"> <tr> <td style="text-align: center;">基準値</td><td>導通あり（10Ω以下）</td></tr> </table>	基準値	導通あり（10Ω以下）
基準値	導通あり（10Ω以下）		
	3. 次の端子間の絶縁を点検 - テストハーネスE2の2Eコネクタ端子①～端子④		
	<table border="1"> <tr> <td style="text-align: center;">基準値</td><td>導通なし（1MΩ以上）</td></tr> </table>	基準値	導通なし（1MΩ以上）
基準値	導通なし（1MΩ以上）		

<次ページへ続く>

SRSエアバッグ&シートベルト

<前ページの続き>

3. エアバッグメイン ハーネス点検

4. 次の間の絶縁を点検

テストハーネスE2のコネクター2E端子④～ボディアース

テストハーネスE2のコネクター2E端子①～ボディアース

基準値

導通なし (1MΩ以上)

この作業は、エアバッグシステムの点検を行うために行います。点検の際は、必ず車両の電源をオフにし、エアバッグシステムの点検手順に従って作業を行います。

基準値

この作業は、エアバッグシステムの点検を行うために行います。点検の際は、必ず車両の電源をオフにし、エアバッグシステムの点検手順に従って作業を行います。

エアバッグシステムの点検

この作業は、エアバッグシステムの点検を行うために行います。点検の際は、必ず車両の電源をオフにし、エアバッグシステムの点検手順に従って作業を行います。

基準値

この作業は、エアバッグシステムの点検を行うために行います。点検の際は、必ず車両の電源をオフにし、エアバッグシステムの点検手順に従って作業を行います。

エアバッグシステムの点検

この作業は、エアバッグシステムの点検を行うために行います。点検の際は、必ず車両の電源をオフにし、エアバッグシステムの点検手順に従って作業を行います。

基準値

基準値

エアバッグシステムの点検

この作業は、エアバッグシステムの点検を行うために行います。点検の際は、必ず車両の電源をオフにし、エアバッグシステムの点検手順に従って作業を行います。

基準値

基準値

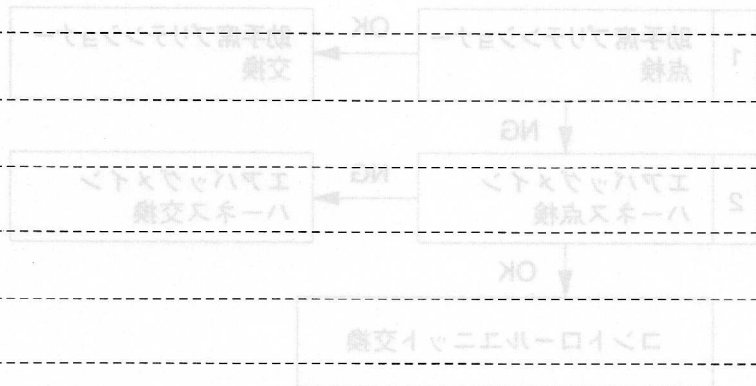
<後ページの続き>

MEMO

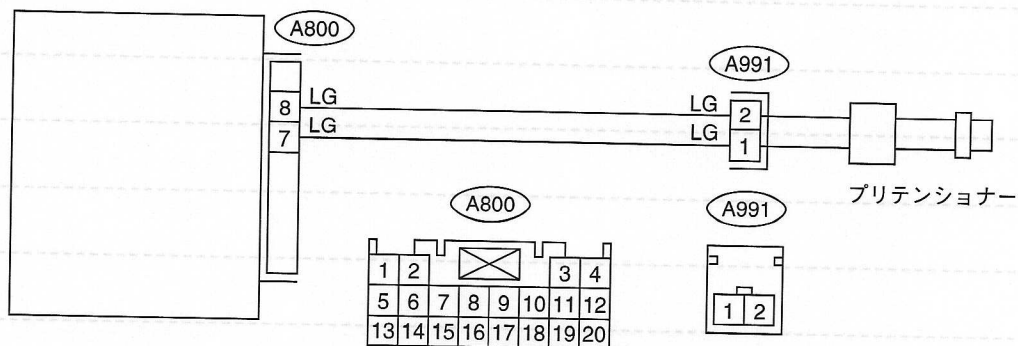
（子ハ一十Eバベリテ（素手組） イーEバ間點・イーEバズーテ・點滿、點回一十Eバベリテ（素手組） ストイーロ



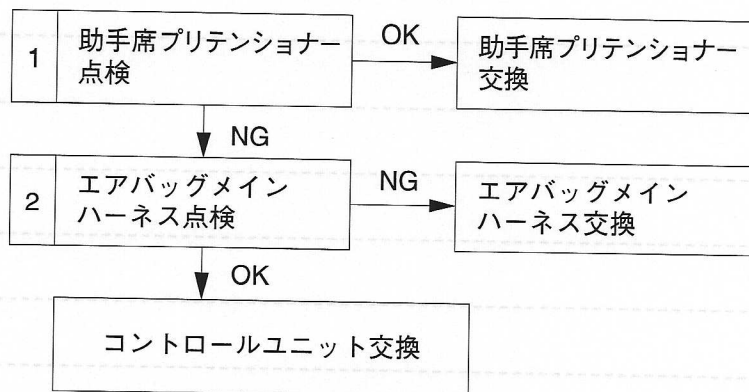
ふす針丸を點滿の頁ネ（針）にイーハネーロテ・



コード12 助手席プリテンショナー回路, 断線・アースショート・線間ショート (助手席プリテンショナー付車)

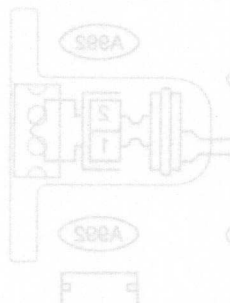


• フローチャートに従い右頁の要領で点検する。



SRSエアバッグ&シートベルト

1. 助手席プリテンショナー点検



注意 作業の前にIG SW OFFし、バッテリーのケーブルを外して20秒以上経過後に作業すること。

1. A991コネクタを分離し、A991コネクタにテストハーネスNを接続する。
2. テストハーネスNにエアバッグレジスターを接続する。
3. バッテリーのマイナスケーブルを接続し、IG SWをONにする。

基準値

エアバッグウォーニングランプは正常になったか（約6秒間点灯し、その後消灯したままであること）

2. エアバッグメインハーネス点検

注意 作業の前にIG SW OFFし、バッテリーのケーブルを外して20秒以上放置すること。

1. エアバッグコネクタA800をコントロールユニットから取り外し、テストハーネスE2の1Eコネクタと接続する。

2. 次の端子間の導通を点検

テストハーネスE2の2Eコネクタ端子②～テストハーネスNの2Nコネクタ端子④

テストハーネスE2の2Eコネクタ端子⑤～テストハーネスNの2Nコネクタ端子③

基準値

導通あり（10Ω以下）

3. 次の端子間の絶縁点検

テストハーネスE2の2Eコネクタ端子②～端子⑤

基準値

導通なし（1MΩ以上）

4. 次の間の絶縁点検

テストハーネスE2の2Eコネクタ端子②～ボディアース間

テストハーネスE2の2Eコネクタ端子⑤～ボディアース間

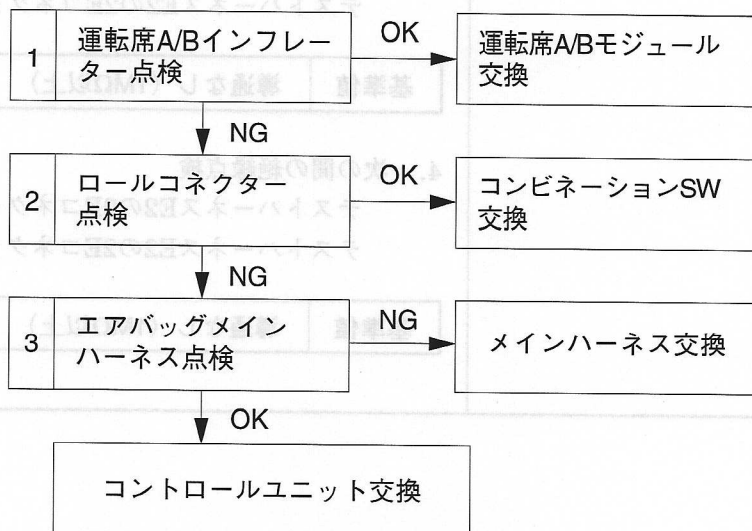
基準値

導通なし（1MΩ以上）

コード15 運転席エアバッグ回路電源ショート



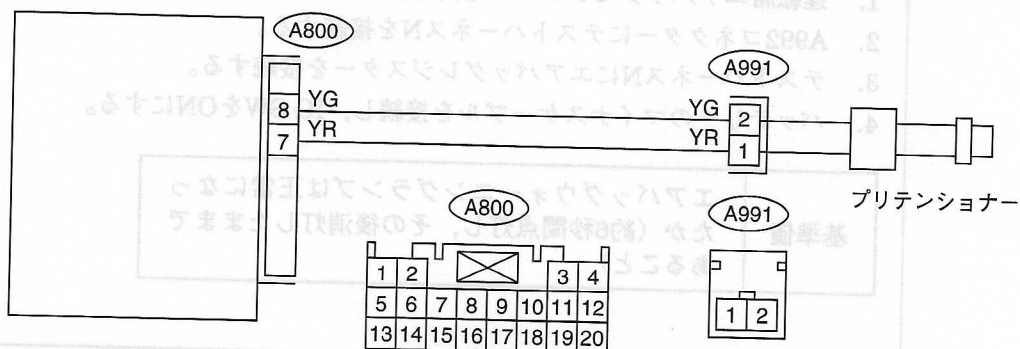
• フローチャートに従い右頁の要領で点検する。



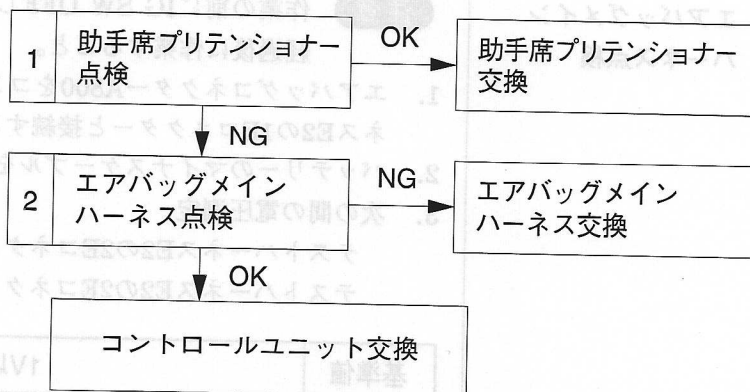
SRSエアバッグ&シートベルト

1. 運転席エアバッグインフレーター点検	注意 作業の前にIG SW OFFし、バッテリーの－ケーブルを外して20秒以上経過後に作業すること。 1. 運転席エアバッグモジュールを外す。 2. A992コネクタにテストハーネスNを接続する。 3. テストハーネスNにエアバッグレジスターを接続する。 4. バッテリーのマイナスケールを接続し、IG SWをONにする。 <table border="1" data-bbox="470 415 1205 537"> <tr> <td style="text-align: center;">基準値</td><td>エアバッグウォーニングランプは正常になったか（約6秒間点灯し、その後消灯したままであること）</td></tr> </table>	基準値	エアバッグウォーニングランプは正常になったか（約6秒間点灯し、その後消灯したままであること）
基準値	エアバッグウォーニングランプは正常になったか（約6秒間点灯し、その後消灯したままであること）		
2. ロールコネクタ点検	注意 作業の前にIG SW OFFし、バッテリーの－ケーブルを外して20秒以上経過後に作業すること。 1. A987コネクタにテストハーネスFを接続する。 2. テストハーネスFにエアバッグレジスターを接続する。 3. バッテリーのマイナスケールを接続し、IG SWをONにする。 <table border="1" data-bbox="470 898 1205 1020"> <tr> <td style="text-align: center;">基準値</td><td>エアバッグウォーニングランプは正常になったか（約6秒間点灯し、その後消灯したままであること）</td></tr> </table>	基準値	エアバッグウォーニングランプは正常になったか（約6秒間点灯し、その後消灯したままであること）
基準値	エアバッグウォーニングランプは正常になったか（約6秒間点灯し、その後消灯したままであること）		
3. エアバッグメインハーネス点検	注意 作業の前にIG SW OFFし、バッテリーの－ケーブルを外して20秒以上経過後に作業すること。 1. エアバッグコネクタA800をコントロールユニットから取り外し、テストハーネスE2の1Eコネクタと接続する。 2. バッテリーのマイナスケールを接続し、IG SWをONにする。 3. 次の間の電圧測定 テストハーネスE2の2Eコネクタ端子④～ボディアース間 テストハーネスE2の2Eコネクタ端子①～ボディアース間 <table border="1" data-bbox="470 1499 1205 1558"> <tr> <td style="text-align: center;">基準値</td><td>1V以下</td></tr> </table>	基準値	1V以下
基準値	1V以下		

コード16 助手席プリテンショナー回路電源ショート (助手席プリテンショナー付車)

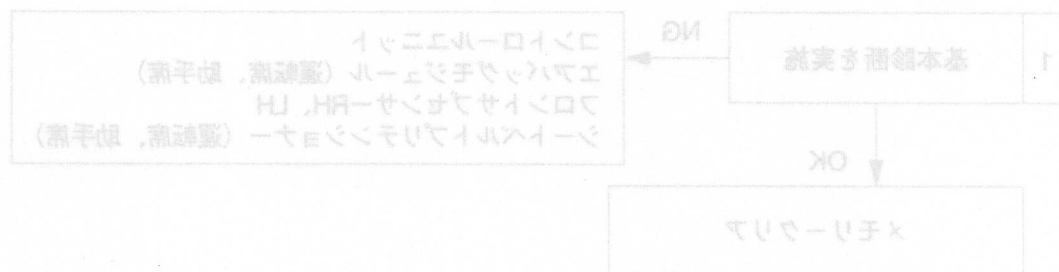


• フローチャートに従い右頁の要領で点検する。

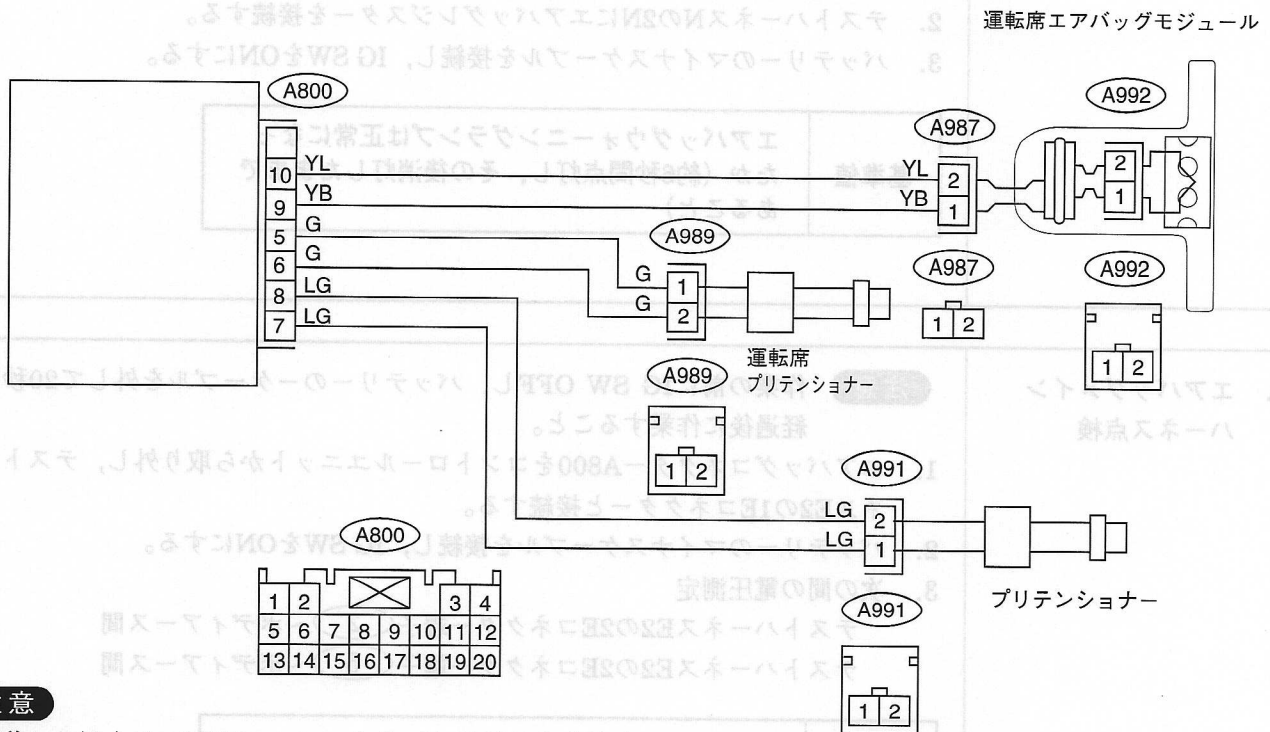


SRSエアバッグ&シートベルト

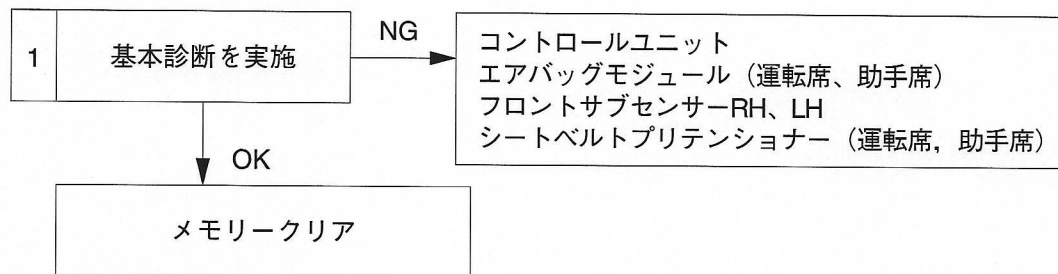
1. 助手席プリテンショナー点検	注意 作業の前にIG SW OFFし、バッテリーのケーブルを外して20秒以上経過後に作業すること。 1. A991コネクタを外し、A991コネクタにテストハーネスNの1Nを接続する。 2. テストハーネスNの2Nにエアバッグレジスターを接続する。 3. バッテリーのマイナスケーブルを接続し、IG SWをONにする。 <table border="1" data-bbox="467 373 1203 499"> <tr> <td style="text-align: center;">基準値</td><td>エアバッグウォーニングランプは正常になったか（約6秒間点灯し、その後消灯したままであること）</td></tr> </table>	基準値	エアバッグウォーニングランプは正常になったか（約6秒間点灯し、その後消灯したままであること）
基準値	エアバッグウォーニングランプは正常になったか（約6秒間点灯し、その後消灯したままであること）		
2. エアバッグメインハーネス点検	注意 作業の前にIG SW OFFし、バッテリーのケーブルを外して20秒以上経過後に作業すること。 1. エアバッグコネクタ-A800をコントロールユニットから取り外し、テストハーネスE2の1Eコネクタと接続する。 2. バッテリーのマイナスケーブルを接続し、IG SWをONにする。 3. 次の間の電圧測定 - テストハーネスE2の2Eコネクタ端子 ② ～ボディアース間 - テストハーネスE2の2Eコネクタ端子 ⑤ ～ボディアース間 <table border="1" data-bbox="467 976 1203 1033"> <tr> <td style="text-align: center;">基準値</td><td>1V以下</td></tr> </table>	基準値	1V以下
基準値	1V以下		



コード22 フロントエアバッグ作動



- フローチャートに従い右頁の要領で点検する。



SRSエアバッグ&シートベルト

基本診断を実施

基本診断を実施する。

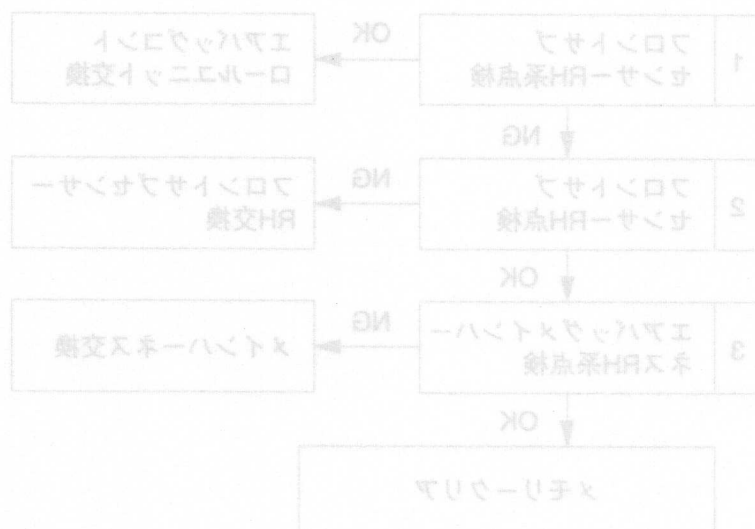
基準値

自己診断で故障コードが表示されないこと。

再度表示されないときはメモリークリアを行う。

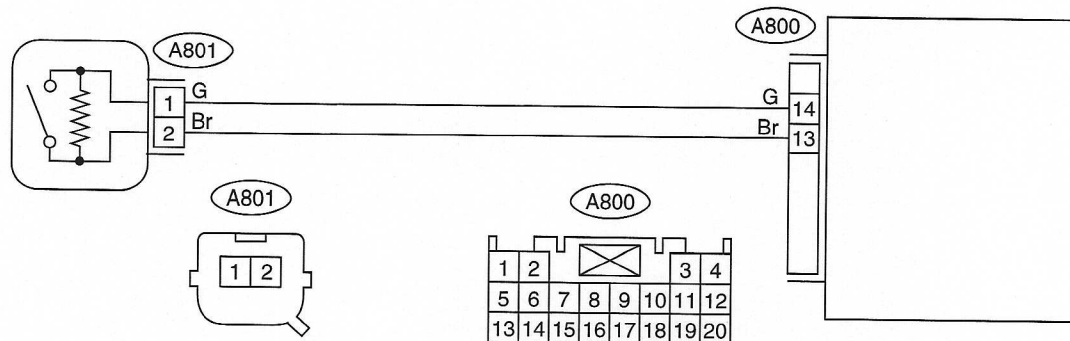


。るす断点の検査の頁の対コニーチヤーロて。

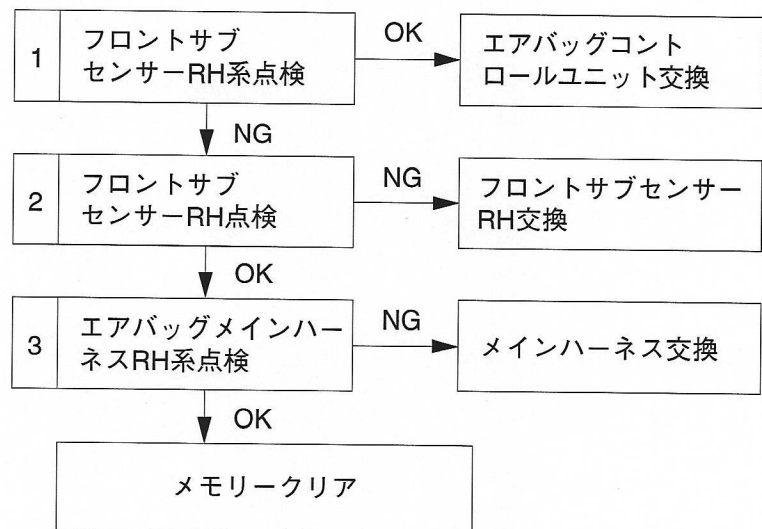


コード31 フロントサブセンサー (RH) 系統

運転席，助手席エアバッグ＋運転席プリテンショナー付車
 運転席エアバッグ＋運転席，助手席プリテンショナー付車



• フローチャートに従い右頁の要領で点検する。



SRSエアバッグ&シートベルト

1. フロントサブセンサーRH系点検	注意 作業の前にIG SW OFFし、バッテリーのケーブルを外して20秒以上経過後に作業すること。 - エアバッグコネクターA800をコントロールユニットから外し、テストハーネスE2のコネクター1Eと接続する。 - フロントサブセンサーRHとハーネス点検 - フロントサブセンサーの抵抗測定 テストハーネスE2の3Eコネクター端子(8)～2Eコネクター端子(12) <table border="1" data-bbox="467 457 1200 512"> <tr> <td>基準値</td><td>750Ω～1kΩ</td></tr> </table> - ハーネスとボディとの絶縁点検 テストハーネスE2の3Eコネクター端子(8)～ボディアース テストハーネスE2の2Eコネクター端子(12)～ボディアース <table border="1" data-bbox="467 695 1200 749"> <tr> <td>基準値</td><td>10kΩ以上</td></tr> </table>	基準値	750Ω～1kΩ	基準値	10kΩ以上
基準値	750Ω～1kΩ				
基準値	10kΩ以上				
2. フロントサブセンサーRH点検	- テストハーネスHの2HコネクターをフロントサブセンサーRHに接続する。 - フロントサブセンサーRHの抵抗測定 テストハーネスHの3Hコネクター端子(3)～(4) <table border="1" data-bbox="467 961 1200 1016"> <tr> <td>基準値</td><td>750Ω～1kΩ</td></tr> </table> - フロントサブセンサーRHとボディとの絶縁点検 テストハーネスHの3Hコネクター端子(3)～ボディアース テストハーネスHの3Hコネクター端子(4)～ボディアース <table border="1" data-bbox="467 1203 1200 1257"> <tr> <td>基準値</td><td>10kΩ以上</td></tr> </table>	基準値	750Ω～1kΩ	基準値	10kΩ以上
基準値	750Ω～1kΩ				
基準値	10kΩ以上				
3. エアバッグメインハーネス(RH系)点検	- A801～コネクターとA801ボディコネクターにテストハーネスHのコネクター1Hを接続する。 - メインハーネスの抵抗測定 テストハーネスE2の3Eコネクター端子(8)～テストハーネスHの3Hコネクター端子(6) テストハーネスE2の2Eコネクター端子(12)～テストハーネスHの3Hコネクター端子(5) <table border="1" data-bbox="467 1633 1200 1688"> <tr> <td>基準値</td><td>10Ω以下</td></tr> </table> - ハーネスとボディの絶縁点検 テストハーネスE2の3Eコネクター端子(8)～ボディアース テストハーネスE2の2Eコネクター端子(12)～ボディアース <table border="1" data-bbox="467 1864 1200 1919"> <tr> <td>基準値</td><td>10kΩ以上</td></tr> </table>	基準値	10Ω以下	基準値	10kΩ以上
基準値	10Ω以下				
基準値	10kΩ以上				

コード31 フロントサブセンサー (RH) 系統

運転席のみエアバッグ

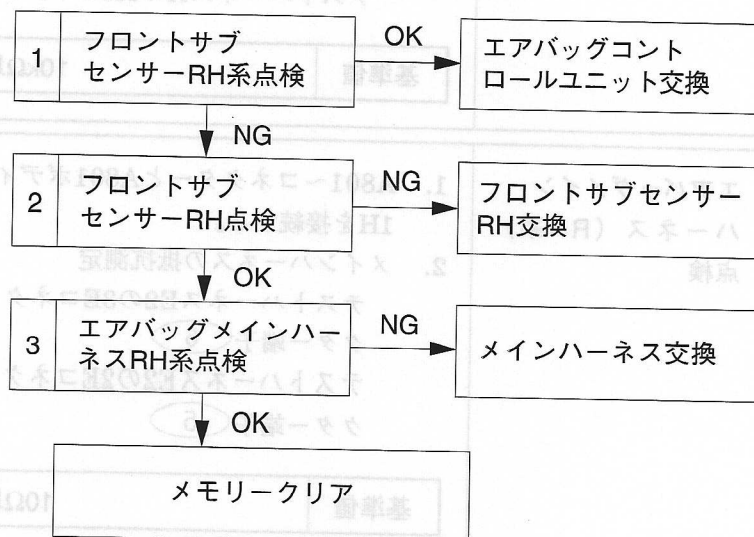
運転席, 助手席エアバッグ

注意

プリテンショナー付車は、3-22ページを参照して下さい。誤ってプリテンショナー付車に下記点検を行うと運転席プリテンショナーが作動し、怪我をする恐れがあります。



• フローチャートに従い右頁の要領で点検する。



SRSエアバッグ&シートベルト

1. フロントサブセンサーRH系点検	注意 作業の前にIG SW OFFし、バッテリーのケーブルを外して20秒以上経過後に作業すること。 - エアバッグコネクタ-A800をコントロールユニットから外し、テストハーネスE2のコネクタ-1Eと接続する。 - フロントサブセンサーRHとハーネス点検 - フロントサブセンサーの抵抗測定 テストハーネスE2の3Eコネクタ端子(2)～3Eコネクタ端子(4) <table border="1" data-bbox="467 457 1203 512"> <tr> <td>基準値</td><td>750Ω～1kΩ</td></tr> </table> - ハーネスとボディとの絶縁点検 テストハーネスE2の3Eコネクタ端子(2)～ボディアース テストハーネスE2の3Eコネクタ端子(4)～ボディアース <table border="1" data-bbox="467 699 1203 753"> <tr> <td>基準値</td><td>10kΩ以上</td></tr> </table>	基準値	750Ω～1kΩ	基準値	10kΩ以上
基準値	750Ω～1kΩ				
基準値	10kΩ以上				
2. フロントサブセンサーRH点検	- テストハーネスHの2HコネクタをフロントサブセンサーRHに接続する。 - フロントサブセンサーRHの抵抗測定 テストハーネスHの3Hコネクタ端子(3)～(4) <table border="1" data-bbox="467 963 1203 1018"> <tr> <td>基準値</td><td>750Ω～1kΩ</td></tr> </table> - フロントサブセンサーRHとボディとの絶縁点検 テストハーネスHの3Hコネクタ端子(3)～ボディアース テストハーネスHの3Hコネクタ端子(4)～ボディアース <table border="1" data-bbox="467 1205 1203 1260"> <tr> <td>基準値</td><td>10kΩ以上</td></tr> </table>	基準値	750Ω～1kΩ	基準値	10kΩ以上
基準値	750Ω～1kΩ				
基準値	10kΩ以上				
3. エアバッグメインハーネス(RH系)点検	- A801～コネクタとA801ボディコネクタにテストハーネスHのコネクタ-1Hを接続する。 - メインハーネスの抵抗測定 テストハーネスE2の3Eコネクタ端子(2)～テストハーネスHの3Hコネクタ端子(6) テストハーネスE2の3Eコネクタ端子(4)～テストハーネスHの3Hコネクタ端子(5) <table border="1" data-bbox="467 1635 1203 1690"> <tr> <td>基準値</td><td>10Ω以下</td></tr> </table> - ハーネスとボディの絶縁点検 テストハーネスE2の3Eコネクタ端子(2)～ボディアース テストハーネスE2の3Eコネクタ端子(4)～ボディアース <table border="1" data-bbox="467 1869 1203 1923"> <tr> <td>基準値</td><td>10kΩ以上</td></tr> </table>	基準値	10Ω以下	基準値	10kΩ以上
基準値	10Ω以下				
基準値	10kΩ以上				

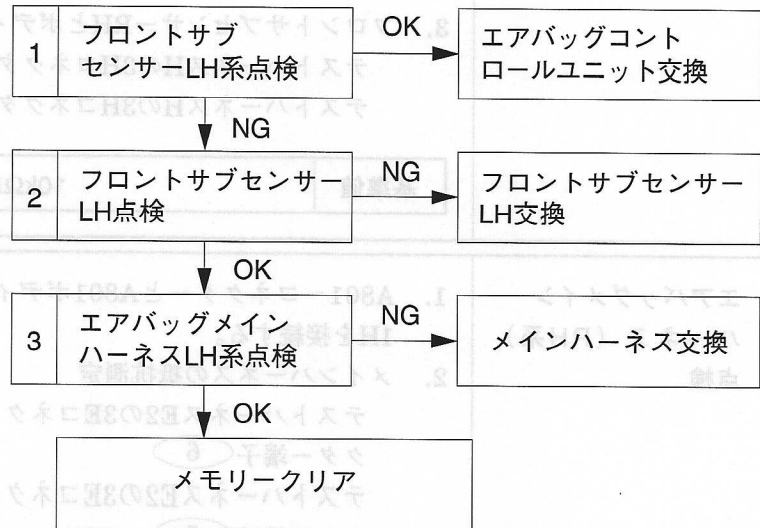
コード32 フロントサブセンサー (LH) 系統

運転席, 助手席エアバッグ+運転席プリテンショナー付車

運転席エアバッグ+運転席, 助手席プリテンショナー付車



• フローチャートに従い右頁の要領で点検する。



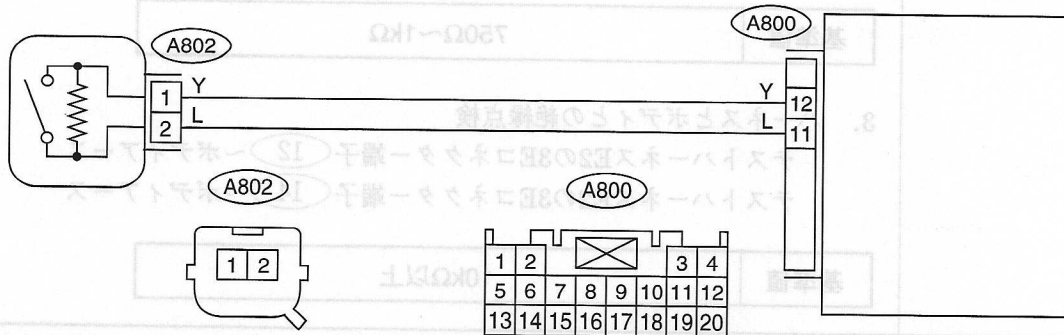
SRSエアバッグ&シートベルト

1. フロントサブセンサーLH系点検	注意 作業の前にIG SW OFFし、バッテリーのケーブルを外して20秒以上経過後に作業すること。 - エアバッグコネクタA800をコントロールユニットから外し、テストハーネスE2のコネクタ1Eと接続する。 - フロントサブセンサーLHとハーネス点検 - フロントサブセンサーの抵抗測定 テストハーネスE2の3Eコネクタ端子 ⑫ ~ ⑭ <table border="1" data-bbox="467 449 1201 506"> <tr> <td>基準値</td><td>750Ω~1kΩ</td></tr> </table> - ハーネスとボディとの絶縁点検 テストハーネスE2の3Eコネクタ端子 ⑫ ~ ボディアース テストハーネスE2の3Eコネクタ端子 ⑭ ~ ボディアース <table border="1" data-bbox="467 688 1201 745"> <tr> <td>基準値</td><td>10kΩ以上</td></tr> </table>	基準値	750Ω~1kΩ	基準値	10kΩ以上
基準値	750Ω~1kΩ				
基準値	10kΩ以上				
2. フロントサブセンサーLH点検	- テストハーネスHの2HコネクタをフロントサブセンサーLHに接続する。 - フロントサブセンサーLHの抵抗測定 テストハーネスHの3Hコネクタ端子 ③ ~ ④ <table border="1" data-bbox="467 953 1201 1010"> <tr> <td>基準値</td><td>750Ω~1kΩ</td></tr> </table> - フロントサブセンサーLHとボディとの絶縁点検 テストハーネスHの3Hコネクタ端子 ③ ~ ボディアース テストハーネスHの3Hコネクタ端子 ④ ~ ボディアース <table border="1" data-bbox="467 1192 1201 1249"> <tr> <td>基準値</td><td>10kΩ以上</td></tr> </table>	基準値	750Ω~1kΩ	基準値	10kΩ以上
基準値	750Ω~1kΩ				
基準値	10kΩ以上				
3. エアバッグメインハーネス（LH系）点検	- A802コネクタとA802ボディコネクタにテストハーネスHのコネクタ1Hを接続する。 - メインハーネスの抵抗測定 テストハーネスE2の3Eコネクタ端子 ⑭ ~ テストハーネスHの3Hコネクタ端子 ⑥ テストハーネスE2の3Eコネクタ端子 ⑫ ~ テストハーネスHの3Hコネクタ端子 ⑤ <table border="1" data-bbox="467 1629 1201 1686"> <tr> <td>基準値</td><td>10Ω以下</td></tr> </table> - ハーネスとボディの絶縁点検 テストハーネスE2の3Eコネクタ端子 ⑭ ~ ボディアース テストハーネスE2の3Eコネクタ端子 ⑫ ~ ボディアース <table border="1" data-bbox="467 1864 1201 1921"> <tr> <td>基準値</td><td>10kΩ以上</td></tr> </table>	基準値	10Ω以下	基準値	10kΩ以上
基準値	10Ω以下				
基準値	10kΩ以上				

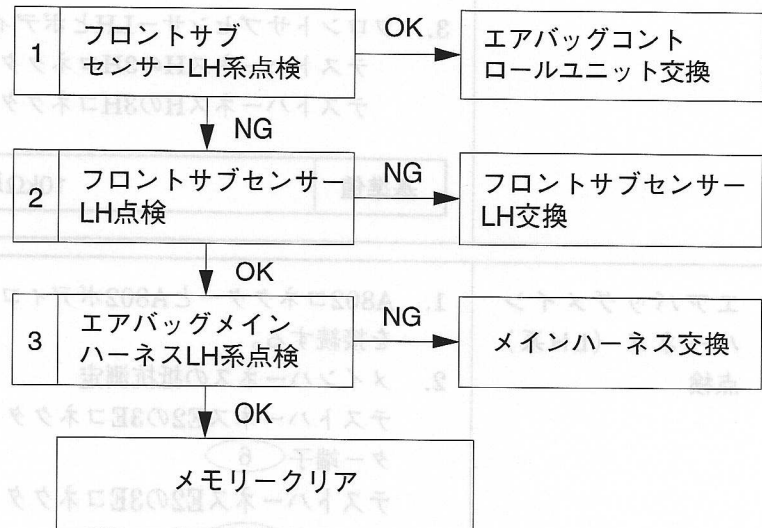
コード32 フロントサブセンサー (LH) 系統

運転席のみエアバッグ

運転席, 助手席エアバッグ

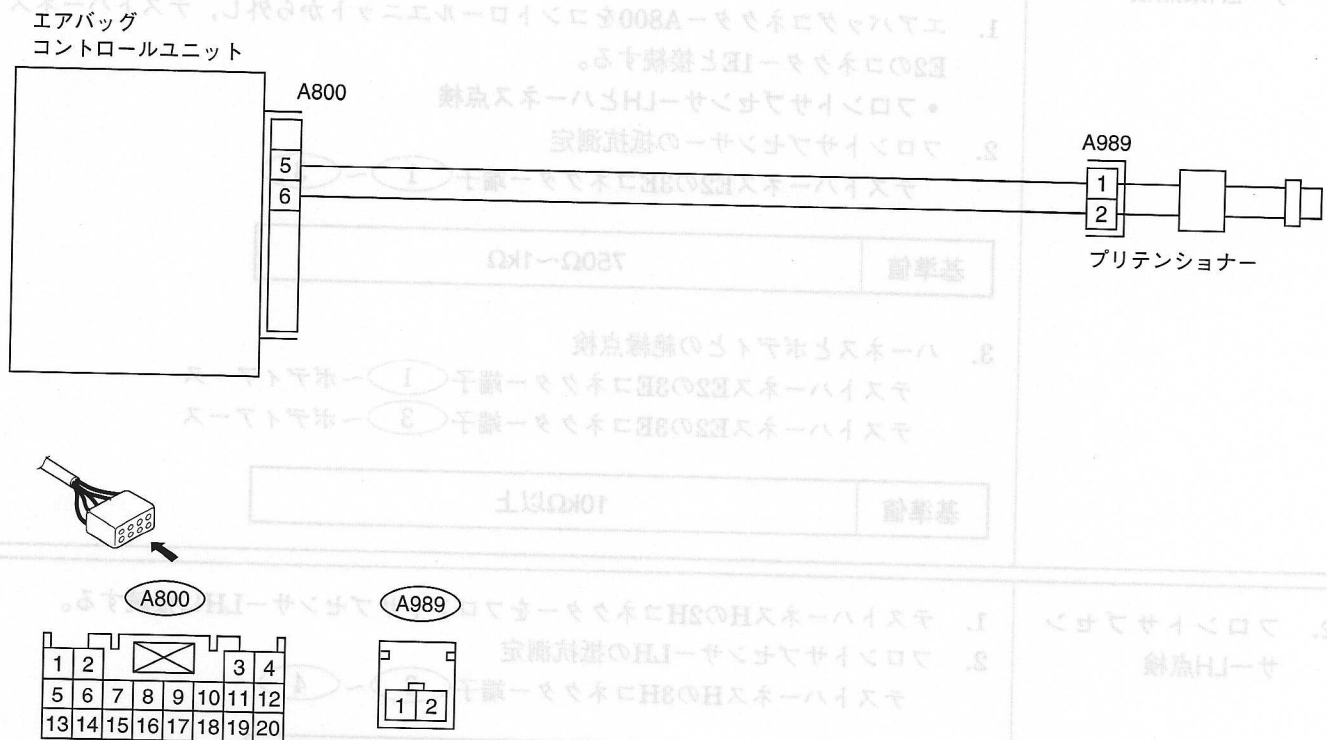


• フローチャートに従い右頁の要領で点検する。



1. フロントサブセンサーLH系点検	注意 作業の前にIG SW OFFし、バッテリーのケーブルを外して20秒以上経過後に作業すること。 - エアバッグコネクタA800をコントロールユニットから外し、テストハーネスE2のコネクタ1Eと接続する。 - フロントサブセンサーLHとハーネス点検 - フロントサブセンサーの抵抗測定 テストハーネスE2の3Eコネクタ端子 ① ~ ③ <table border="1"> <tr> <td>基準値</td><td>750Ω~1kΩ</td></tr> </table> - ハーネスとボディとの絶縁点検 テストハーネスE2の3Eコネクタ端子 ① ~ ボディアース テストハーネスE2の3Eコネクタ端子 ③ ~ ボディアース <table border="1"> <tr> <td>基準値</td><td>10kΩ以上</td></tr> </table>	基準値	750Ω~1kΩ	基準値	10kΩ以上
基準値	750Ω~1kΩ				
基準値	10kΩ以上				
2. フロントサブセンサーLH点検	- テストハーネスHの2HコネクタをフロントサブセンサーLHに接続する。 - フロントサブセンサーLHの抵抗測定 テストハーネスHの3Hコネクタ端子 ③ ~ ④ <table border="1"> <tr> <td>基準値</td><td>750Ω~1kΩ</td></tr> </table> - フロントサブセンサーLHとボディとの絶縁点検 テストハーネスHの3Hコネクタ端子 ③ ~ ボディアース テストハーネスHの3Hコネクタ端子 ④ ~ ボディアース <table border="1"> <tr> <td>基準値</td><td>10kΩ以上</td></tr> </table>	基準値	750Ω~1kΩ	基準値	10kΩ以上
基準値	750Ω~1kΩ				
基準値	10kΩ以上				
3. エアバッグメインハーネス（LH系）点検	- A802コネクタとA802ボディコネクタにテストハーネスHのコネクタ1Hを接続する。 - メインハーネスの抵抗測定 テストハーネスE2の3Eコネクタ端子 ③ ~ テストハーネスHの3Hコネクタ端子 ⑥ テストハーネスE2の3Eコネクタ端子 ① ~ テストハーネスHの3Hコネクタ端子 ⑤ <table border="1"> <tr> <td>基準値</td><td>10Ω以下</td></tr> </table> - ハーネスとボディの絶縁点検 テストハーネスE2の3Eコネクタ端子 ③ ~ ボディアース テストハーネスE2の3Eコネクタ端子 ① ~ ボディアース <table border="1"> <tr> <td>基準値</td><td>10kΩ以上</td></tr> </table>	基準値	10Ω以下	基準値	10kΩ以上
基準値	10Ω以下				
基準値	10kΩ以上				

コード61 運転席プリテンショナーハーネス不良

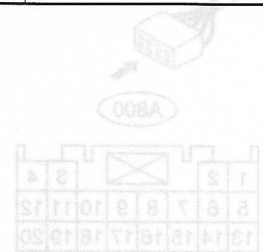


注意：作業前にIG SW OFFし、バッテリーのマイナス端子を外して20秒以上放置すること。

手順	作業	基準値	基準値内の場合	基準値外の場合
1	プリテンショナー点検 1)プリテンショナーからコネクターA989を分離、A989にテストハーネスNの1Nを接続 2)テストハーネスNの2Nにエアバッグレジスターを接続する。 3)バッテリーのマイナス端子を接続し、IGSW ONしてエアバッグ警告灯の点灯状態を見る。	エアバッグ警告灯が正常に点灯（約6秒間点灯し、その後消灯したままであること）	プリテンショナーを交換する（アウターベルト）	手順2のプリテンショナーハーネス（断線）の点検を行う
2	プリテンショナーハーネス点検（断線） 1)テストハーネスNの1NコネクターをA989に接続 2)エアバッグコントロールユニットからコネクターA800を分離、テストハーネスE2の1Eコネクターと接続 3)下記端子間の導通点検を行う テストハーネスE2の3Eコネクター2番端子～テストハーネスNの2Nコネクター4番端子 テストハーネスE2の3Eコネクター4番端子～テストハーネスNの2Nコネクター3番端子	導通あり（10Ω以下）	手順3のプリテンショナーハーネス（線間ショート）の点検を行う	プリテンショナーハーネスを交換する

SRSエアバッグ&シートベルト

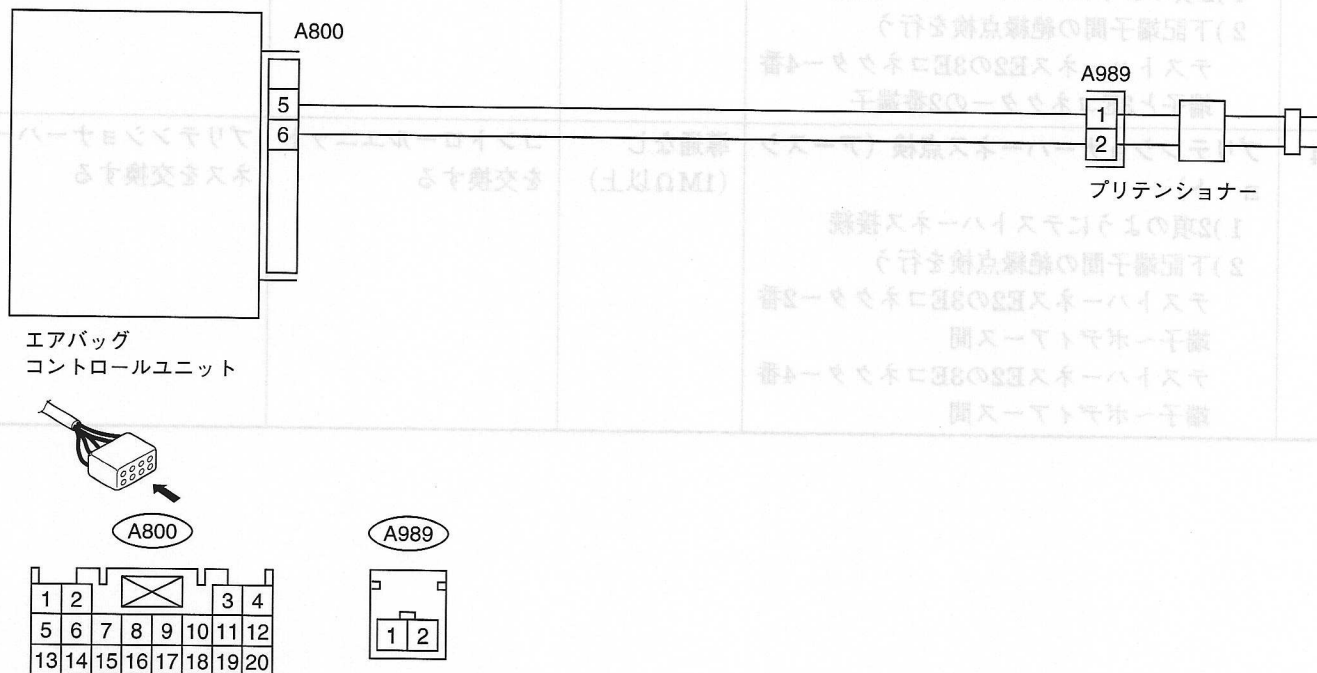
手順	作業	基準値	基準値内の場合	基準値外の場合
3	プリテンショナーハーネス点検（線間ショート） 1)2項のようにテストハーネス接続 2)下記端子間の絶縁点検を行う テストハーネスE2の3Eコネクター4番端子と3Eコネクターの2番端子	導通なし (1MΩ以上)	手順4のプリテンショナーハーネス（アースショート）点検を行う	プリテンショナーハーネスを交換する
4	プリテンショナーハーネス点検（アースショート） 1)2項のようにテストハーネス接続 2)下記端子間の絶縁点検を行う テストハーネスE2の3Eコネクター2番端子～ボディアース間 テストハーネスE2の3Eコネクター4番端子～ボディアース間	導通なし (1MΩ以上)	コントロールユニットを交換する	プリテンショナーハーネスを交換する



注意：作業前には、IG SW OFF、ハッチを開き、エアバッグの警告灯が点灯することを確認してください。

作業の概要	作業の内容	作業の基準	作業の手順	備考
エアバッグの点検（線間ショート）	エアバッグの点検（線間ショート）	導通なし（1MΩ以上）	1) プリテンショナーハーネス（アースショート）点検を行う 2) プリテンショナーハーネス（アースショート）点検を行う	1
エアバッグの点検（アースショート）	エアバッグの点検（アースショート）	導通なし（1MΩ以上）	1) プリテンショナーハーネス（アースショート）点検を行う 2) プリテンショナーハーネス（アースショート）点検を行う	2

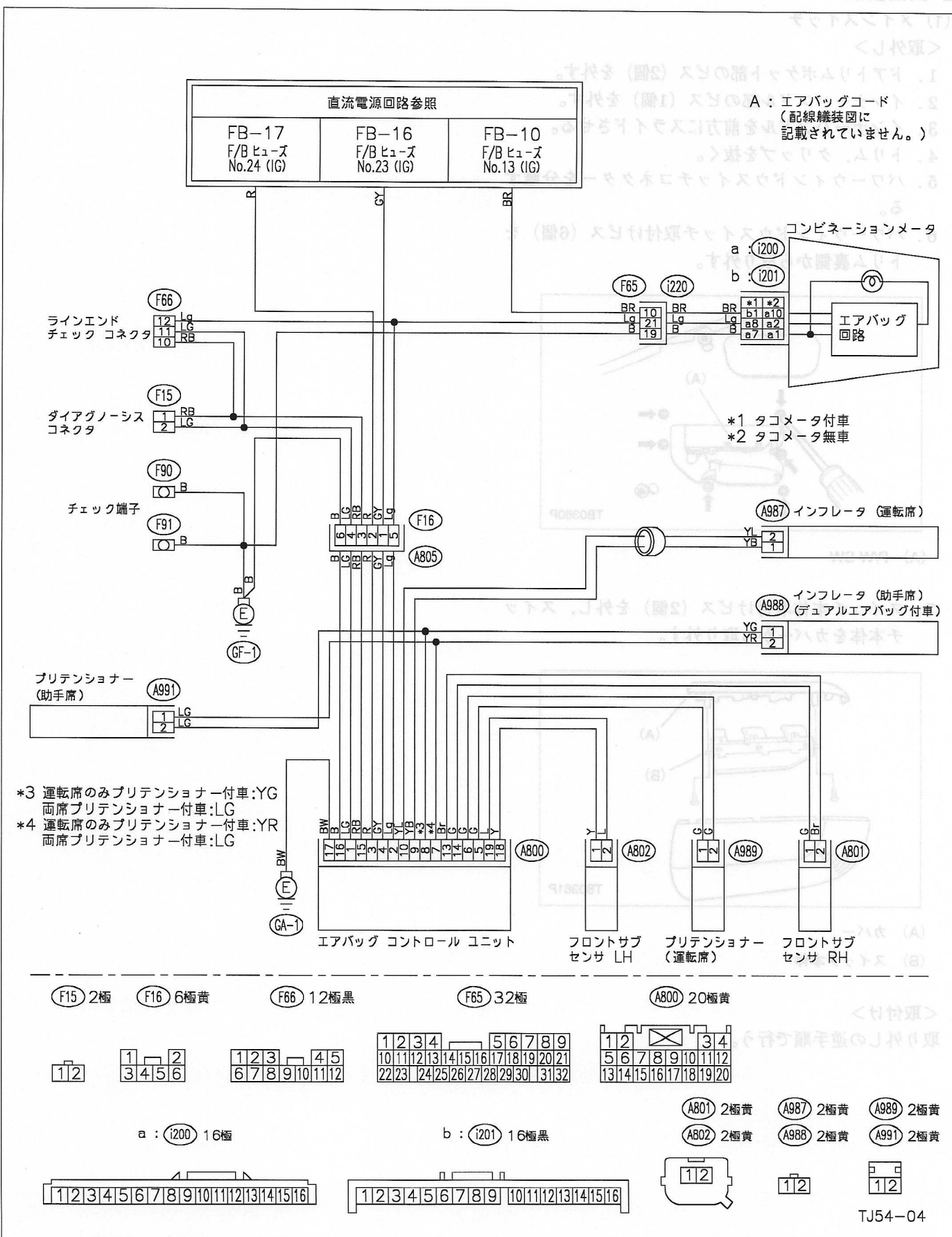
コード65 運転席プリテンショナーハーネス電源ショート



注意：作業前にIG SW OFFし、バッテリーのマイナス端子を外して20秒以上放置すること。

手順	作業	基準値	基準値内の場合	基準値外の場合
1	プリテンショナー点検 1)プリテンショナーからコネクターA989を分離, A989にテストハーネスNの1Nを接続 2)テストハーネスNの2Nにエアバッグレジスターを接続 3)バッテリーマイナス端子を接続し, IG SW ONしてエアバッグ警告灯の点灯状態を見る	エアバッグ警告灯が正常に点灯 (約6秒間点灯し, その後消灯したままであること)	プリテンショナーを交換する (アウターベルト)	手順2のプリテンショナーハーネス (断線) 点検を行う
2	プリテンショナーハーネス点検 (断線) 1)コネクターA989を分離 2)エアバッグコントロールユニットからコネクターA800を分離, テストハーネスE2の1Eコネクターと接続 3)IG SW ONし, 下記端子間の電圧測定を行う テストハーネスE2の3Eコネクター2番端子～ボディアース テストハーネスE2の3Eコネクター4番端子～ボディアース	1V以下	コントロールユニットを交換する	プリテンショナーハーネスを交換する

(5) 回路図



〔1〕パワーウィンドウシステム

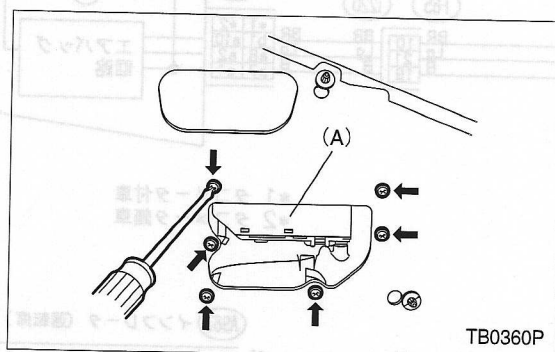
■ 装備要領

図解回 (a)

(1) メインスイッチ

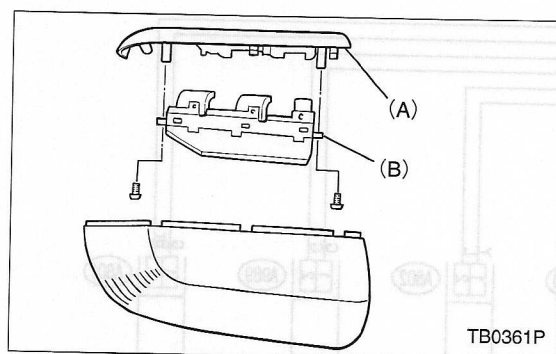
<取外し>

1. ドアトリムポケット部のビス (2個) を外す。
2. インナーハンドル部のビス (1個) を外す。
3. インナーハンドルを前方にスライドさせる。
4. トリム, クリップを抜く。
5. パワーウィンドウスイッチコネクターを分離する。
6. パワーウィンドウスイッチ取付けビス (6個) をトリム裏側から取り外す。



(A) P/W SW

7. スイッチ本体取付けビス (2個) を外し, スイッチ本体をカバーから取り外す。



(A) カバー

(B) スイッチ本体

<取付け>

取り外しの逆手順で行う。

■ 点検

症状	修理順序
パワーウインドウが全て作動しない。	(1) ヒューズ (MB-8) (2) パワーウインドウサーキットブレーカー (3) パワーウインドウリレー (4) ワイヤリングハーネス
パワーウインドウのみ作動しない。	(1) パワーウインドウメインスイッチ (2) パワーウインドウサブスイッチ (3) パワーウインドウモーター (4) ワイヤリングハーネス
「ウインドウロック」が作動しない。	パワーウインドウメインスイッチ
運転席側のウインドウがオートアップ/オートダウンの操作をしても少ししか動かない。	リセット操作を行う。

<リセット操作>

1. イグニッションスイッチをONにする。
2. パワーウインドウメインスイッチを「アップ」方向に操作して運転席側のウインドウガラスを全閉にする。
3. ウインドウガラスが全閉のままパワーウインドウスイッチを「アップ」方向に3秒間保持する。
4. パワーウインドウメインスイッチを「オートダウン」方向に操作して正常に全開になるか点検する。正常にならない場合、手順1から4まで再度行う。

(2) メインスイッチ

スイッチの抵抗を測定する。

	スイッチ位置	端子No.	標準値
運転席	UP	4および6, 5および2	1Ω未満
	OFF	5および6 5および2 6および2	1Ω未満
	DOWN	4および5, 6および2	1Ω未満
助手席	UP	4および3, 1および2	1Ω未満
	OFF	1および3 1および2 3および2	1Ω未満
	DOWN	4および1, 3および2	1Ω未満

不具合がある場合、メインスイッチを交換する。

(3) サブスイッチ

スイッチの抵抗を測定する。

	スイッチ位置	端子No.	標準値
助手席	UP	3および4, 1および2	1Ω未満
	OFF	1および2, 4および5	1Ω未満
	DOWN	3および1, 4および5	1Ω未満

不具合がある場合、サブスイッチを交換する。

〔1〕バルブクリアランス

対点

バルブクリアランス基準値（冷態時）	
インテーク	0.15±0.04mm
エキゾースト	0.30±0.04mm

スローバでリフトロ (A)	
キットスベトスロウイントウーロハ (1)	
キットスベトサロウイントウーロハ (2)	
ローチロウイントウーロハ (3)	
スローバでリフトロ (4)	
キットスベトスロウイントウーロハ	
リフトロをリフトロ	

<リフトロ>

1. リフトロをキットスベトスロウイントウーロハにする。
2. リフトロをキットスベトスロウイントウーロハにする。
3. リフトロをキットスベトスロウイントウーロハにする。
4. リフトロをキットスベトスロウイントウーロハにする。

(2) キットスベトス

キットスベトスロウイントウーロハ

調整No.	調整位置	調整値
10未調	UP	431U6, 831U2
10未調	OFF	831U6, 831U2
10未調	DOWN	431U6, 831U2
10未調	UP	431U6, 831U2
10未調	OFF	831U6, 831U2
10未調	DOWN	431U6, 831U2

不具合がある場合、調整を繰り返す。

(3) サブスベトス

キットスベトスロウイントウーロハ

調整No.	調整位置	調整値
10未調	UP	331U4, 131U2
10未調	OFF	131U2, 431U2
10未調	DOWN	331U4, 131U2

不具合がある場合、調整を繰り返す。